

2025年女子体操日本代表選手の選考方法

I. 第53回世界体操競技選手権大会(インドネシア/ジャカルタ)

【選考大会】 女子:点数合算とする。(個人総合)

- ・体操天皇杯 第79回全日本体操個人総合選手権 高崎アリーナ(4月17日～4月20日)
※全日本個人総合決勝へは、**予選30名**が進出する。
- ・第64回NHK杯体操 東京体育館 (5月15日～5月18日)
※NHK杯へは、全日本個人総合**決勝24名**が進出する。

【選出方法】<代表選手 4名>

① 個人総合 2名

全日本予選・全日本決勝・NHK杯 合計 個人総合上位 2名

② 種目別 2名

代表①を除く、3試合のうちの得点上位2試合の平均が下記【選出基準得点】を超えた選手 2名

【選出基準得点】 **【跳馬(14.20)段違い平行棒(14.40)平均台(13.70)ゆか(13.30)】**

- ・代表②の2名の選手は同一種目に出場できないため、異なる種目で条件を満たした選手を、各種目1名(計2名)を選出する。
- ・代表②の選出手順は以下の通りとする。
 - 1) 上記【選出基準得点】を超えた選手を対象に、種目別代表選出順位にもとづいて選出する。この順位は、各種目での【選出基準得点】との差がより大きい者を上位とする。(複数種目での合算はしない。)
 - 2) この順位における最上位者を代表②-1として選出し、代表②-1とは異なる種目の最上位者を代表②-2として選出する。
- ・【選出基準得点】を超えた選手が1名の場合は、代表①の次点者1名を選出し、【選出基準得点】を超えた選手がいない場合は、代表①の次点者2名を選出する。ただし、代表①の次点者2名を選出の場合のみ、出場種目についての最終決定は予選大会および合宿試技会により決定にする。

【タイブレークに関して】

個人総合タイブレーク FIGタイブレークに準ずる (NHK杯決勝)

- 種目別タイブレーク
- ① 最高得点と選出基準得点との点差が最も大きい者
 - ② 選出基準得点を超えた回数が最も多い者

<補欠>

- ・補欠1 :個人総合次点者 1名
- ・補欠2 :種目別次点者 最大2名 (異なる種目で条件を満たした選手)
※上記該当者がいなかった場合は、補欠1の次点者1名とする。

II. 2025FISU 世界ユニバーシティゲームズ(ドイツ/ライン・ルール)

【選考大会】 女子:点数合算とする。(個人総合)

・体操天皇杯 第79回全日本体操個人総合選手権 高崎アリーナ(4月17日～4月20日)

※全日本個人総合決勝へは、**予選30名**が進出する。

・第64回NHK杯体操 東京体育館 (5月15日～5月18日)

※NHK杯へは、全日本個人総合**決勝24名**が出場する。

【選出方法】<代表選手 5名>

全日本予選・全日本決勝・NHK杯 個人総合上位 5名

※NHK杯に該当者がいない場合は、全日本決勝の上位者へ繰り下げて選出していく。

<補欠>

個人総合の次点者1名 国内補欠

【選手交代について】※ I. II

選出された代表選手に怪我やコンディション不良などが発生した場合、補欠選手と入れ替える場合がある。その場合は、女子体操強化本部長から提案を行い、選手選考委員会で決定する。

【その他】※ I. II

・各代表選考会において、国籍および年齢等の参加条件を満たす選手のみを選考対象とする。

・上記の選考方法では順位が確定しない場合は強化本部長の提案により、選手選考委員会で決定する。

・跳馬に関しては種目別での選出を目指す場合は、全日本予選・全日本決勝・NHK杯は2跳躍を実施。1本目が個人総合のための得点、種目別では2本の平均点となる。